

# 参議院議員通常選挙

# 巨理町の宮城県選挙区投票率は

# 49.44%

7月21日、第25回参議院議員通常選挙の投票が、町内15カ所の投票所で行われました。  
当日の巨理町の有権者数は28,561人で、14,121人の方が投票し、投票率は宮城県選挙区選出議員選挙で49.44%を記録しました。前回平成28年(52.29%)と比較すると2.85ポイント減少しました。

## 宮城県選挙区選出議員選挙得票数

候補者名	得票数
愛知 治郎	7,123
石垣 のりこ	6,351
三宅 紀昭	457

有効投票数 13,931  
無効投票数 190  
投票者数 14,121  
投票率 49.44%

## 宮城県選挙区選出議員選挙得票数

政党名	得票数
自由民主党	5,675.916
立憲民主党	2,259.857
公明党	1,819.057
国民民主党	1,332.050
日本共産党	861.000
日本維新の会	546.950
れいわ新選組	449.000
NHKから国民を守る党	259.000
社会民主党	185.000
安楽死制度を考える会	68.000
オリーブの木	55.166
幸福実現党	40.000
労働の解放をめざす労働者党	33.000

有効投票数 13,584  
無効投票数 537  
投票者数 14,121  
投票率 49.44%



巨理町選挙管理委員会

## 投票所ごとの投票率(宮城県選挙区)

投票所	投票率(%)
巨理第1投票所(上館生活センター)	51.81
巨理第2投票所(町中央児童センター)	50.58
巨理第3投票所(巨理保育所)	50.43
巨理第4投票所(悠里館)	47.54
吉田第1投票所(吉田小学校体育館)	49.72
吉田第2投票所(一本松集会所)	55.03
吉田第3投票所(長瀬小学校体育館)	49.17
吉田第4投票所(農村環境改善センター)	51.34
荒浜第1投票所(勤労青少年ホーム)	54.15
荒浜第2投票所(高須賀公会堂)	57.33
逢隈第1投票所(B&G海洋センター体育館)	48.62
逢隈第2投票所(鹿島保育所)	48.43
逢隈第3投票所(高屋小学校集会所)	48.68
逢隈第4投票所(田沢活性化センター)	62.41
逢隈第5投票所(牛袋公会堂)	42.88

## 「宮城の顔」から楽しく学ぶ

## 町民のつどい

6月22日、宮城県の夕方の顔として、老若男女から人気を博している「宗さん」ことさとう宗幸さんを講師に迎え、男女共同参画フォーラム「町民のつどい」が中央公民館で盛大に開催されました。  
「ふれあいの時を求めて」と題した講演では、宗さんが、自身の私生活でのエピソードを取り入れながら、男女共同参画についての重要性を説き、会場が、笑いで包まれるなど、参加者は、男女共同参画について楽しく理解を深めている様子でした。  
また、宗さんの代表曲の一つでもある「青葉城恋唄」をはじめ、講演の内容に合わせた歌が随所で披露され、参加者は宗さんの歌声に合わせて手拍子するなど、会場は大きな盛り上がりを見せていました。



共同参画の重要性を説く宗さん

## 歩いて学ぶ逢隈ヒストリー

## ウォークラリー大会

6月16日に、巨理町民ウォークラリー大会が巨理町B&G海洋センター体育館を発着点として逢隈地区内約5kmのコースで開催されました。  
この大会は、町の自然に親しみ、健康と体力の向上や参加者同士の親睦を図ることを目的として毎年開催されているもので、今年は、18チーム61人の参加者が、逢隈地区内に計10カ所あるチェックポイントでクイズやミニゲームに挑戦しながら歩きました。  
クイズでは、逢隈地区に分布する史跡や遺跡にまつわる内容が出題され、参加者たちは、チームのメンバーと相談しながら史跡などの案内板に熱心に目を通し、逢隈地区の歴史について理解を深めながらウォークラリーを楽しみました。  
ゴールまでのタイムとクイズの正答率を総合した順位の結果、優勝を果たした佐々木真弓さんは、「友人同士で参加した。楽しみながら逢隈の歴史を知ることができた。」と話しました。



案内板からクイズのヒントを探す参加者

## 「防災ウォーク」で避難路確認

## 防災キャンプ

災害時に必要な知識や技能を学ぶ「防災キャンプ」が荒浜小学校で6月22日に行われ、荒浜小学校の児童10人が参加しました。  
午前中に行われた防災の体験では、巨理消防署隊員の指導のもと、ライフジャケット着用法や通報訓練、ロープ結索訓練などに全員が挑戦しました。  
また、午後には、小学校区内の高台を知り、実際に津波の危険性が生じた際の避難の方法を確認する「防災ウォーク」を行ったほか、夜には炊き出し訓練を行い、災害時に必要な知識や技能を学びました。  
参加した荒浜小6年の伊藤聖那さんは、「ジュニア・リーダーや巨理高校生などいろいろな人に協力してもらって良い体験ができた。この体験をこれからの生活にいかしていきたい。」と感想を話しました。



119番通報訓練に挑戦する児童

## 料理を通して国際交流

## エジプト料理教室

7月13日、国際交流協会わたりが主催する、エジプトの伝統的な家庭料理を伝える料理教室が中央公民館で開催されました。  
講師には、エジプト出身のハゼム・アバス・ファルーク・アバスさんが駆け付け、参加者はハゼムさんから説明されるエジプト料理の調理方法に、時おり驚きをみせるなど、会場は大きな盛り上がりを見せていました。  
完成した料理の試食では、エジプトの家庭料理として親しまれている「コフタ」と呼ばれる肉料理やデザートを口にした参加者から「おいしい」と声が上がると、料理に舌鼓を打つ姿が各所で見られました。  
ハゼムさんは「エジプトの料理を見たり口にしたる機会に限られていると思う。これを機会に参加したみなさんが家庭でもエジプト料理を調理してくれたらうれしい。」と話しました。



ハゼムさんから調理方法を学ぶ参加者